

TRAFFIC ADVICE ★交通教育センターから



10月6日には、鈴鹿サーキットにて「2008トラフィック・セーフティ・フォーラムin鈴鹿」が開催された(主催: 鈴鹿サーキット交通教育センター、本田技研工業(株)安全運転普及本部)...



キャリアコーチングカレッジ 田中守主任コーチ

矢橋昇氏をコーディネーターに 瀧上氏、田中氏、ディー・エイチ・エル(DHL) ジャパン(株)の川上和生氏、鈴鹿サー...

「運転」知識・体力・技術を身に付けても緊張やぼんやりで集中力が低いと、不安全な運転に繋がる。運転に心を向けて安全運転ができるよう、姿勢を正す、行動に気を向けるなど、エネルギーを高めて潜在能力を発揮する心の実践トレーニングが大切と述べた。

2008トラフィック・セーフティ・フォーラムin鈴鹿



瀧上勝義・Safety Driving & Air Energy 研究所長

三池氏は「我が社の交通安全活動」に全員参加の活動で感性を高め事故防止を図ろうとテーマを発表。小集団で協力して取り組む交通安全活...

「交通安全を考える」人・企業・信頼」 10月2日、「2008トラフィック・セーフティ・フォーラムin熊本」が本田技研工業(株)熊本製作所・新ウエルカムホールにて開催された(主催: 交通教育センター・熊本・福岡、本田技研工業(株)安全運転普及本部)...

交通安全を考える人・企業・信頼

動、通勤経路のヒヤリマップ作りなどの取組みにより、全員の交通安全意識向上を図り事故削減につなげた事例を紹介した。



体験視察会では雨天時の急ブレーキ体験などが行われた

最後に矢橋氏から「交通安全の指導者に必要なものは①明確な理念を持っていること②自身で考えさせる教育ができること③他者への配慮ができる人材を育てること」とまとめられ、パネルディスカッションは終了した。



午前中には実技体験会が行われた

GIVE WAY 交通安全が機知に富んだ掌編小説になった 「GIVEWAY ギブウェイ 交通安全ショート・ショート」 矢橋昇 中日出版社/1200円

NEWS REVIEW

●(財)交通事故総合分析センター 第11回研究発表会 交通事故に関する各種調査・分析研究を発表



- 10月7日(火)、スクワール麹町(東京都千代田区)にて(財)交通事故総合分析センター主催の「第11回 研究発表会」が開催された。この研究発表会は、同センターが行った交通事故に関する各種調査・分析研究の成果を交通安全対策に活用してもらうことを目的に毎年行われている。

環境の変化が少なく緊張しない単路にて漫然・脇見により危険認知を見すごし、速度が減速されることなくハンドルの誤った操作が無意識に行われ工作物等への衝突を起こしているケースが多いという分析結果が報告された。

●飲酒運転根絶シンポジウム あの悲劇を忘れない。しない、させない飲酒運転



10月9日、ニッショーホール(東京都港区)にて『飲酒運転根絶シンポジウム』が開催された(主催: 警察庁)。最初に、東川一・警察庁交通局長が開会の挨拶。続いて、鈴木由紀生・愛国学園大学教授 茨城大学名誉教授による基調講演「飲酒運転根絶—飲酒者を囲む人の重要性—」が行われた。

の、18年以降の取り組み状況と今後の飲酒運転者対策について」をテーマにディスカッションが行われた。アルコール依存症またはその疑いのある人への教育環境の充実、家庭・地域・職場で飲酒運転根絶に向け共に助け合うことなどが話し合われた。

●第40回 全国白バイ安全運転競技大会 安全運転技能の最高峰を全国の白バイ隊員が競う

10月11日、12日の両日、自動車安全運転センター安全運転中央研修所(茨城県ひたちなか市)にて第40回全国白バイ安全運転競技大会(主催: 警察庁)が開催された。この大会は、全国の白バイ隊員の安全運転技能の向上、士気の高揚及び隊員相互の融和団結を図ることを目的として、昭和44年より毎年実施されている。今年も、47都道府県警察等から、女性隊員40名を含む189名の選手が参加。2日間で計4種目の競技で熱戦が繰り広げられ、延べ約7000人が観戦した。



TOPICS 2 安全運転教育用二輪ライディングシミュレーター



よりきめ細かな安全運転教育を可能に ホンダの二輪ライディングシミュレーターは、実際の交通状況を再現しながら危険を安全に体験することができるとして、高い評価を得ている。今回、受講生に危険に対する認知や判断、理解をさらに高めたいという目的で、実際の運転中に起こりやすい危険な場面での運転のポイントを画像やコメントでわかりやすく示した「危険場面解説機能」など、指導員がよりきめ細かく、的確に指導することができるよう機能新たに追加してさらに進化させた。